

実展開した ITS スポットサービスの利用者評価

高度情報化研究センター

高度道路交通システム研究室

室長 金澤 文彦

主任研究官 坂井 康一

研究官 鈴木 一史

部外研究員 中村 悟

(キーワード) ITSスポット、利用者評価



1. はじめに

我が国では、ITSスポットサービスが、2011年8月までに全国の高速度道路上を中心に約1,600箇所を実展開している。

ITSスポットサービスは、ITSスポット（路側機）からITSスポット対応カーナビを通じて、道路交通情報・安全運転支援等に関する情報が配信され、画像および音声にてドライバーに情報提供するものである。具体的には、最大約1,000kmに及ぶ広域かつリアルタイムな道路交通情報がITSスポットから配信され、カーナビが最速ルートを実タイムに検索する「ダイナミック・ルート・ガイダンス」、急カーブ、渋滞末尾、落下物等の注意喚起を行う「安全運転支援情報提供」等のサービスが実現している。

2. ITSスポットサービスの利用者評価

国土交通省では、実展開したITSスポットサービスの導入効果の把握および改善策検討に向けた利用者意見の収集を目的として、2011年から全国約700名のモニタにITSスポット対応カーナビを貸与し、モニタ調査を実施している。

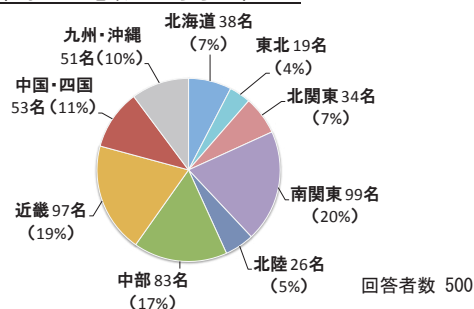
モニタの属性は、一般ドライバー、団体職員（商工会議所、トラック協会等）、バス・タクシー等の事業者、レンタカー利用者、行政関係者等である。2011年度のモニタ調査では、2011年9月～2012年2月の間に3回のアンケートと1回のヒアリングを実施した。

調査内容は、運行目的や運転頻度、サービスの利用状況・認知度・役立ち度等である。アンケート結果の一部を図1に示す。調査時は、サービスが開始して間もないことから、各情報提供を受けたモニタの割合は半数に及んでいない。一方で、各情報を受けた経験のあるモニタのうち7割以上が、実際に「非常に役に立った」「やや役に立った」と回答しており、利用者からはサービスに対して概ね肯定的な回答が得られた。

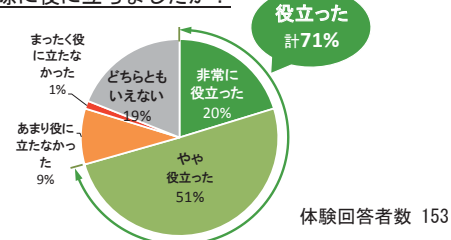
3. まとめ

ITSスポットサービスによる渋滞削減、事故削減等の着実な社会的効果の発現には、ITSスポット対応車載器のさらなる普及が不可欠である。これには、モニタ調査を通じて把握したITSスポットサービスの有用性を、一般ドライバーに分かりやすく情報提供するとともに、利用者評価を参考にサービス改善を進める必要がある。

Q. お住まいの地域はどちらですか？



Q. ダイナミック・ルート・ガイダンスは実際に役に立ちましたか？



Q. 安全運転支援情報（通行規制・障害物情報）は実際に役に立ちましたか？

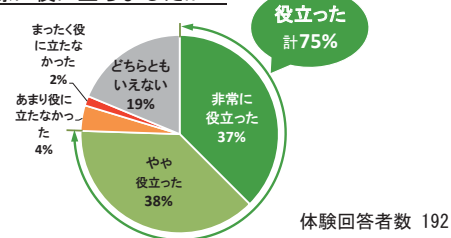


図1 アンケート結果（2011年11月実施）

参考：ITSスポットサービスHP

http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dssrc/